

「芦屋スタイル」の住生活の実現を目指して 「芦屋市住宅マスタープラン」を策定

問い合わせ 住宅課 ☎38-2026

住宅マスタープランの概要

将来像「芦屋スタイル」の住生活の実現

安全・安心
やさしさ
誇りと愛着
ゆとりと高質
芦屋らしさ
住文化とすまい感

基本理念1. 住むことに誇りを持てる高質なまち

目標1: 「ゆとりのある高質な」すまいづくり
* 高質な住宅供給の促進
* 良好な住環境の維持・誘導
* 高質な住宅ストック流通の活性化

目標2: 「芦屋らしさ」を表出するすまいづくり
* 六甲山や河川と調和したすまいづくりの規制・誘導
* 街並みを生かしたすまいづくりの規制・誘導
* 地球環境に配慮した緑豊かなすまいづくりの推進

基本理念2. 心豊かに安全で安心して暮らせるまち

目標3: すべての人に「安全で安心な」すまいづくり
* 老朽住宅等の解消
* 既存住宅の改善による減災の促進
* 防災に配慮した住宅供給と防災力向上の促進

目標4: すべての人に「やさしい」すまいづくり
* 高齢者等に配慮した住宅改善・供給の推進
* 保健・医療・福祉等と連携したすまいづくりの推進
* ユニバーサルデザインの推進

目標5: 「ストック」を活用したすまいづくり
* 公営住宅等の適切な維持管理とストック活用
* マンションの適切な維持管理と改善
* 既存住宅のリフォームの推進

基本理念3. すまい感と住文化を育むまち

目標6: 芦屋らしい「すまい感」を大切にすまいづくり
* すまいに関する意識啓発
* 適切な住情報の提供システムの確立
* 災害など緊急時対応へのコミュニティの育成支援

目標7: 次代に「住文化」を継承するすまいづくり
* あらゆる世代を対象とした「すまい教育」の推進とネットワークの形成
* 歴史的・文化的に重要な建築物等の保全・活用

知性と気品に輝く 芦屋の実現に向けて

本格的な少子・高齢化を迎えるなど社会経済情勢が著しく変化するとともに、住宅施策を取り巻く課題がハードからソフトまで多様化する中で、平成十八年六月には「住生活基本法」が公布され、住宅施策に関する新たな取り組みへの転換が求められています。

国際文化住宅都市・芦屋の特性を考慮し、新たな時代のニーズにマッチした芦屋市の将来像として、「芦屋市住宅マスタープラン」を策定しました。このプランは、「すまい」と「環境」に対する意識がますます高まる中、行政組織内はもとより関係機関、民間団体の皆さんとも協働する横断的な施策構成とし、芦屋らしい「安全・安心」な住みよいまちづくりに寄与できるものと考えています。

本計画は、左表概要に表示されている基本理念および目標を実現するため、十五の施策があり、さらに六つの重点プログラムが設定されています。詳しくは、住宅課窓口または市ホームページで。

■十五の施策

高質な住宅供給と良好な住環境の形成 高質な住宅流通システムの構築 高質な住環境整備 芦屋らしい景観形成を通じた良好な住環境の保全・育成 地域主体の取り組みによる地域ルールづくりの支援 歴史的・文化的建築物等の保全・活用 循環型社会に資する環境共生型住宅の供給促進 多様な選択が可能なすまいづくりの推進 子育て・高齢

者施策等と連携した施策の推進 最低住居水準未達住宅の解消 住宅の耐震化等の推進 市営住宅ストック総合活用計画の策定 総合的な住宅相談窓口の設置 マンション管理組合ネットワークづくりの支援 すまい・まちづくりに関するセミナー等の開催 すまい感・住文化を育てるすまい教育等の導入

■重点プログラム

「まちづくりルール」づくり 「わが家の安全・安心」の確保 既存マンションの更新・改善 福祉施策と連携したすまいの整備 すまいとまちを考える機会の創出 「市営住宅ストック総合活用計画」の策定

兵庫県住宅再建共済制度

マンション管理組合等の管理者のかたも、地震保険等と別に、マンションの共用部分について 棟単位で、すべての自然災害による住宅再建共済に加入できます。

■負担金 月額200円×マンション住宅戸数×3月までの月数
■給付金 再建等 300万円×新たな住戸数
補修 (25万円～100万円)×加入時の住戸数
詳細については、下記へお問い合わせください。

問い合わせ 兵庫県住宅再建共済基金 ☎078-362-9400

「芦屋市廃棄物減量等推進審議会」

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規定に基づく審議会の市民委員を、次のとおり公募します。

■審議内容 一般廃棄物の減量化及び再資源化の推進に関すること 分別収集の実施に関すること 啓発活動に関すること

■公募人数 若干名
■任期 2年
■対象 市内在住で20歳以上(4月1日現在)のかた
■応募方法 5月23日(金)までに「廃棄物の減量化・再資源化」に関する作文(800字以内、書式自由)、住所・氏名・電話番号・生年月日・性別を記入し、簡易書留等で下記へ応募してください。決定後、ご本人へ通知します。

問い合わせ 環境処理センター ☎32-5391
(〒659-0032 浜風町31-1)

阪神高速道路 3号神戸線・摩耶～芦屋間 通行止め工事のお知らせ

5月29日(木)午前4時から6月6日(金)午前6時まで、阪神高速道路3号神戸線摩耶～芦屋間の上下線約10kmにおいて、通行止め工事を実施します。

詳しくは、阪神高速ホームページ <http://www.hanshin-exp.co.jp> をご覧ください。

海での事件事故・不審な船舶等を見かけたら 緊急電話118へ

第8管区海上保安本部では、沿岸周辺海域の監視警戒活動を強化するための取り組みを実施しています。海上・沿岸域で見慣れない船や無灯火等の不審な船舶等を見つけた場合は、直ちに118番、または最寄りの海上保安部署へ、通報するようお願いいたします。

問い合わせ 海上保安本部 ☎118

「芦屋市耐震改修促進計画」策定

助成制度をご活用ください

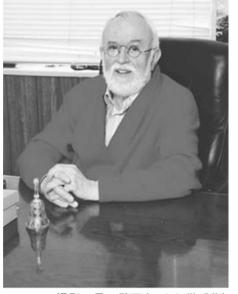
建築指導課 ☎382114

地震による住宅や建築物の倒壊、また地震被害を減少させる「減災」の取り組みを一層進めるため、新たに住宅・建築物の耐震化率の目標を定め、耐震診断・耐震改修を促進するための施策を示した「芦屋市耐震改修促進計画」を策定しました。

本計画は、住宅の現況耐震化率87%を、平成二十七年(2015年)に98%以上とし、多くのかたが利用する建築物等の現況耐震化率62%を、平成二十七年(2015年)に93%以上とするなどのほか、耐震診断や耐震改修を促進するための施策を定めています。

わすかな負担(戸建ての場合三

芦屋の人



撮影・桑田敬司(ハナヤ勤兵衛)

生家は製パン業者で、父は、十八歳から仕事を手伝い、もう五十年以上もパン作りをやっています。私が日本に来たのは一九六五年、二十二歳の時。フランスの職人組合から派遣され、東京で開催された国見見本市でパンづくりの演習をするためです。不思議な縁というものはたくさんあって、その一年前に母が亡くなったのですが、生きていれば私の日本行きに反対して、私は日本に来ていなかったかもしれぬ。その後、神戸「ドンク」に技術指導者として迎えられる。七年前、そして、二十七歳のときに日本人の女性と結婚し、息子が生まれました。一九七一年には、松ノ内町のドンク

パンは命の糧だから

保存料や添加物は一切使いません

また、阪神間や東京・横浜、芦屋市内にもカフェやレストランなど店舗を付けてきました。

阪神大震災のときには、本店を含め市内に八店舗ありましたが、そのうち五店舗が被災。清水町の二店舗は全焼し、業平町の本店付近の木造建築は軒並み倒壊しました。私は、従業員の無事を確認したり、本店の瓦礫の中からテーブルを引っ張り出して無事だった商品を並べ、道行く人に無償でパンを配りました。今でも「あの時はありがたう」と声をかけてくれる人がいます。困った時に助け合うのは当然のことやけど、やはりうれしいね。ここがなばっていこうという気持ちになったよ。

フィリップ・ピゴ

今、二人の息子と一緒に仕事し、ここで育った職人たちが独立して全国でそれぞれ店舗を展開している。今の心境、そうですね。満足いくものを出してこれた。正直に生きてこれた。これからも、自然なもの、無添加の、おいしいパンを作っていきますよ。芦屋の皆さんも、おいしいパンのパンをたくさん食べてね!

●フィリップ・ピゴ氏
一九四二年九月十七日、フランスルマン生まれ。六三年パリでフランスパンの世界的権威者レイモン・カルベル氏に師事。六五年来日。七一年一月、ピゴの店「一号店」開店。フランス農事功労賞シュバリエ勲章(八二年)、学術教育功労賞オフィシエ勲章(九〇年)、フランス最高の栄誉レジオンドヌール勲章(二〇〇三年)ほかを受賞。

現在、市内や全国店舗のオーナー社長を務める。一方、大学ほかでの講演、講習、テレビ出演などで活躍。著書に「フィリップ・ピゴのパン」(柴田書店)。

5月は「宅地防災月間」～防災相談・パトロール実施～

【宅地防災相談】

■日時 5月14日(水)午後2時30分～4時
■会場 市役所北館3階会議室5
■対象 宅地の安全性等に疑問をお持ちのかた

【宅地防災パトロール】

■日時 5月21日(水)午後1時30分～4時30分
■内容 市関係機関と合同で危険箇所の把握に努め、状況に応じて注意・指導等を実施

問い合わせ 兵庫県阪南県民局建築課 ☎06-4868-5113

夜間(17:00～9:00)水道修理事当番表【5月】

水道の修理は「芦屋市指定給水装置工事事業者」へ

平日の昼間は水道部へお尋ねください。

店名	TEL	当番日
(資)神明商会	22-3565	1, 14, 20, 26
中央水道工務所	22-3552	2, 8, 21, 27
原田商会	22-0706	3, 9, 15, 28
越智商会	22-3708	4, 10, 16, 22
南大坂商会	32-6302	5, 11, 17, 23, 29
西岡設備工業所	22-6900	6, 12, 18, 24, 30
前忠工業所	31-8548	7, 13, 19, 25, 31

夜間の修理は右の業者が待機しています。

問い合わせ 水道工務課維持担当 ☎38-2083

春の大園遊会 2008.5/18 <小雨決行>

■日時 5月18日(日)午前10時～午後4時
■会場 総合公園(陽光町1-1)
■アクセス 阪急バス71系統・総合公園下車 有料駐車場あり

■内容 飲食模擬店/フリーマーケット(午後3時30分まで)/消防・はしご車体験/防災体験/音楽・コーラス/少年サッカー大会/ちびっこ広場/花苗交換会/体育協会総会開会式(午前中、陸上競技場内)花苗販売ほか

問い合わせ 総合公園管理事務所 ☎25-2023

緑の募金にご協力を

森と緑を守り育てていくための「緑の募金」にご協力ください。

昨年度は、市民の皆さんなどから750,555円の募金をいただきました。募金の半額は地域活動助成金として市に還元され、学校園の緑化や県下の森林保全活動や巨樹の保存に役立てられました。

【春季募金運動 3月1日～5月31日】

問い合わせ 緑化推進委員会事務局 ☎38-2065(公園緑地課内)

「芦屋シティグラフ(ASHIYA CITY GRAPH)」好評発売中!

「芦屋シティグラフ」(A4判・52ページ/全カラー刷)を発行・発売しています。

芦屋の自然や歴史、芦屋ゆかりの芸術・文学・文化。それらにふれつつ散歩を楽しめるコースの紹介、行政の動きや統計、また市内の医療機関一覧・地図など盛りだくさんの情報が、写真170点のほかイラストや地図とともにわかりやすく掲載しています。ご活用ください。

■発売場所 市役所行政情報コーナー・ラポルテ市民サービスコーナー ■定価 300円

問い合わせ 広報課 ☎38-2006